



データとサービス提供者とを結びつけ、新しい価値を創出します

概要

データ中心社会の実現に向け、さまざまなステークホルダーが保有するデータと、データから新たな価値を創出するサービス提供者とを結びつける「データセントリックコンピューティング基盤サービス」および、それを支える次世代データハブ技術を、将来のスマートシティを題材としたコンセプト展示を通じてご紹介します。

Data Hub for IOWN Digital Twin Computing デジタルツイン構想を実現する次世代データハブ技術

- End-to-end ICT resource control for milliseconds latency
ミリ秒レベルの低遅延を実現するエンドツーエンドICTリソース制御技術
- Event-driven inference platform for significant energy and traffic reduction
大幅なエネルギー消費量削減を実現するイベントドリブン推論基盤
- Dataflow control for flexible and efficient data processing
柔軟かつ効率的なデータ処理を実現するデータフロー制御技術

Data-Centric Smart City データセントリックスマートシティ

- Using a large amount of camera and sensor data across the entire city and all vehicles, etc.
街全体・全車両などにわたる大規模なカメラ・センサーデータを活用
- High-capacity, low-latency network with IOWN
IOWNによる大容量低遅延なネットワーク
- Real-time support with advanced AI
高度なAIによるリアルタイムサポート



Instant notification of danger
危険を瞬時に通知

Find people who need help
手助けが必要な人を検知



Evacuation guidance in an emergency
緊急時の避難誘導

出展社

日本電信電話株式会社

特徴

- 単一データを複数の利用目的で活用する際に効率的なデータ分析処理基盤を提供
- エッジデバイスとDC間の通信処理およびデータ分析処理について処理遅延時間を安定化

利用シーン

- 市中の単一カメラ映像から防犯・交通情報分析・マーケティングなどの複数用途に利用
- リアルタイム性が要求される、交差点におけるドライバーへの危険通知など

今後の展開

- 処理の低遅延化・スケールアウト化に向けて、次世代データハブ技術の検討を進め、デジタルツインの実現を推進します。

問い合わせ先:

rdforum-nw-ml@hco.ntt.co.jp